

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5:03-3492-4460 最新の連絡先はホームページhttp://www.dnlighting.co.jpをご確認ください。

安全上の注意

安全に関するご注意

- プロファイルシステムPFS、PFSH、PFM、適合LEDモジュール、直流電源装置の取扱説明書と併せてよくお読みの上、正しくお使いください。適合LEDモジュール以外は使用できません。
- 専用電気工事が必要な場合があります。取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、感電、火災の原因となることがあります。

このプロファイルシステム専用吊具は必要な部品(ワイヤー、取付金具等)を組み合わせて、適合プロファイルシステムを水平に吊り下げるための屋内用製品です。

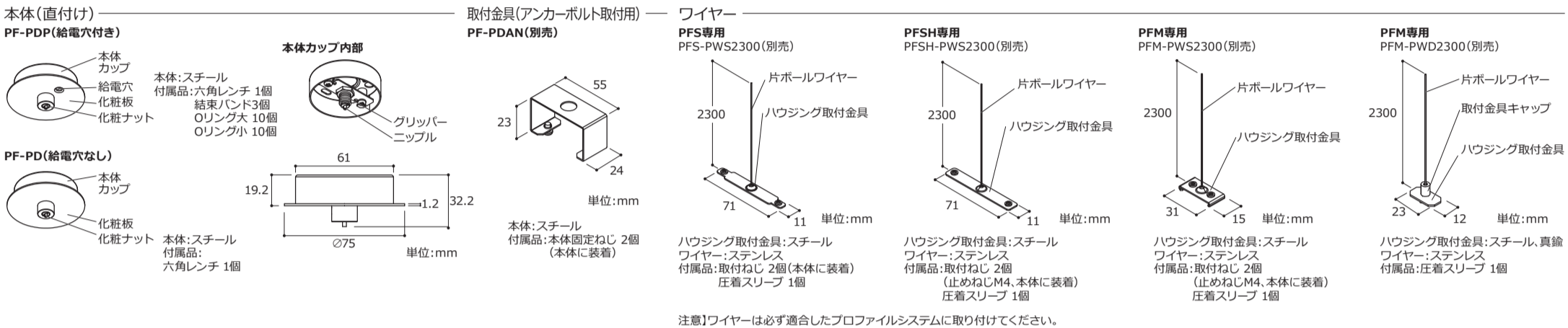
保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- ※LED光源は寿命がきてても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

警告

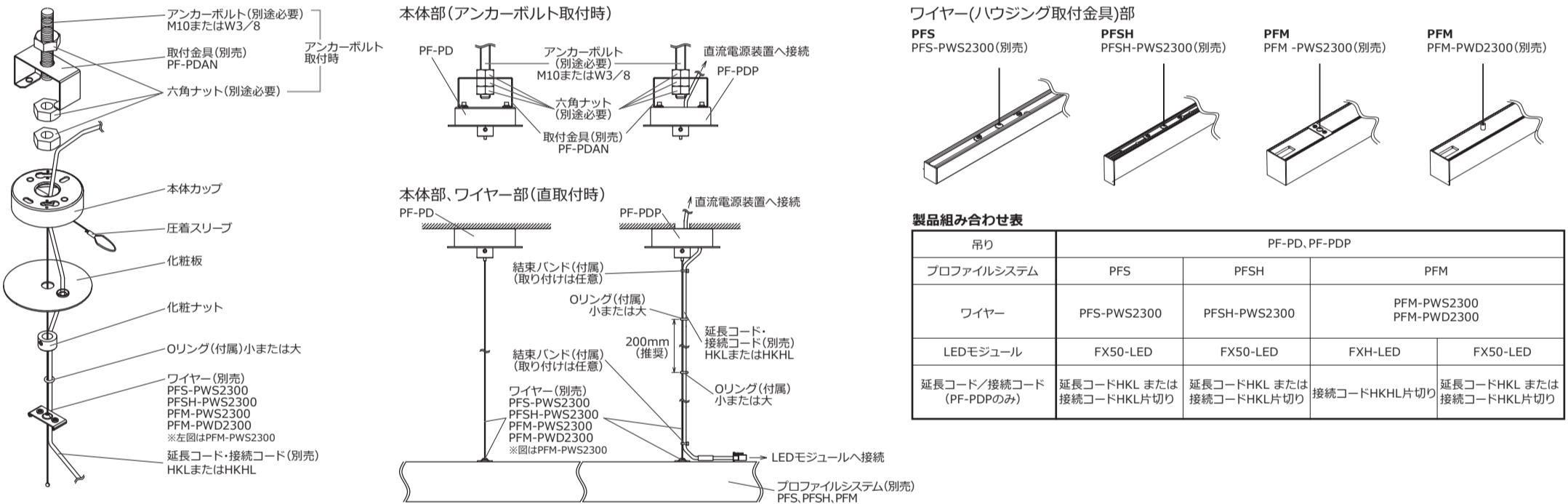
- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 必要作業以外の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 傾斜天井、壁面への取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 適合プロファイルシステム以外使用しないでください。落下の原因となります。
- 2本以上のワイヤーで吊り下げる吊具ですので、1本吊りはしないでください。落下の原因となります。
- ワイヤーに衝撃を加えないでください。落下の原因となります。
- この吊具の設定可能高さは最大2000mmです。これ以上の長さでワイヤー吊りをしないでください。落下の原因となります。
- 振動のある場所には取り付けしないでください。落下の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- プロファイルシステム専用吊具の取り付けは、プロファイルシステム全体の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- プロファイルシステムが傾かないよう水平に吊り下げてください。プロファイルシステムの落下の原因となることがあります。
- 吊具を造営材へ取り付けの際は、一直線上に精度良く取り付けてください。プロファイルシステム落下の原因となることがあります。
- 吊具本体の取り付け位置は、プロファイルシステムへのワイヤー(取付金具)取付ピッチと合わせてください。落下、傾きの原因となります。

各部の名称と外形寸法



分解図

組立図



製品組み合わせ表

吊り	PF-PD、PF-PDP			
	PFS	PFSH	PFM	
プロファイルシステム	PFS	PFSH	PFM	
ワイヤー	PFS-PWS2300	PFSH-PWS2300	PFM-PWS2300 PFM-PWD2300	
LEDモジュール	FX50-LED	FX50-LED	FXH-LED	FX50-LED
延長コード/接続コード (PF-PDPのみ)	延長コードHKL または 接続コードHKL片切り	延長コードHKL または 接続コードHKL片切り	接続コードHKHL片切り	延長コードHKL または 接続コードHKL片切り

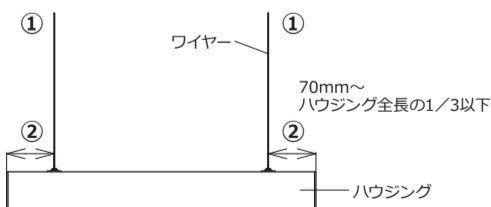
取付条件

〈単体(ハウジングを連結しない場合)〉

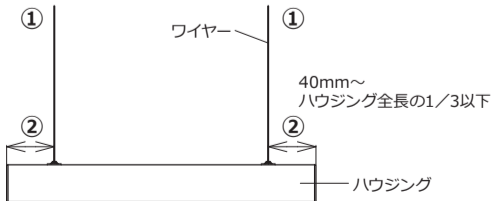
- ・吊り下げ可能なプロファイル全長
 PFS 280mm~2523mm
 PFSH 280mm~2523mm
 PFM 280mm~2533mm

- ①ワイヤー(別売)はハウジングの2箇所に取り付けてください。
- ②ワイヤーの取付位置は製品ごとに異なります。下図にしたがって確実に取り付けてください。
 注意】ワイヤーの配置が造作により著しく不均等になるときは、ワイヤーを3箇所に取り付けてください。

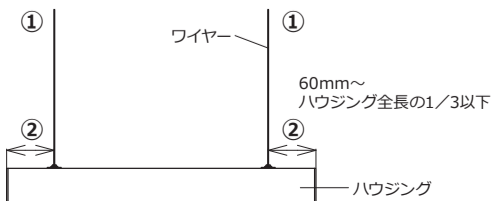
ワイヤー-PFS-PWS2300、ワイヤー-PFSH-PWS2300使用時



ワイヤー-PFM-PWS2300使用時



ワイヤー-PFM-PWD2300使用時



〈連結(ハウジングを連結する場合)〉

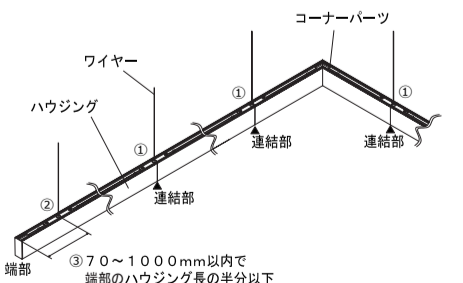
- ・吊り下げ可能なプロファイル全長
 PFS 最大5023mm
 PFSH 最大10000mm(コーナーパーツを含む1辺の最大)
 PFM 最大10000mm(コーナーパーツを含む1辺の最大)

- ①ワイヤー(別売)は必ずハウジングの連結部に取り付けてください。ただし、PFM-PWD2300は連結部から100mm離れた位置に取り付けてください。(PFM-PWD2300はジョイント部やコーナーパーツには取り付けできません。)
- ②端部のハウジングには、連結部とは別にワイヤーを取り付けてください
- ③端部の取付位置は下表の端部取付範囲内、端部のハウジング長の半分以下の位置に取り付けてください。

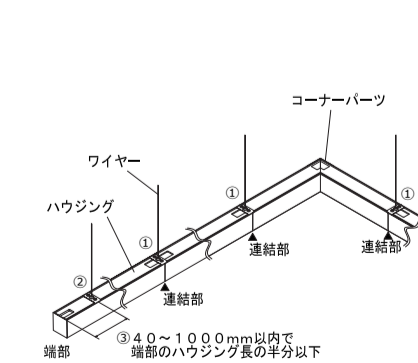
ワイヤー	PFS-PWS2300 PFSH-PWS2300	PFM-PWS2300	PFM-PWD2300
端部取付範囲	70~1000mm	40~1000mm	60~1000mm

ワイヤー-PFS-PWS2300、ワイヤー-PFSH-PWS2300使用時 ※図はPFSH-PWS2300使用時

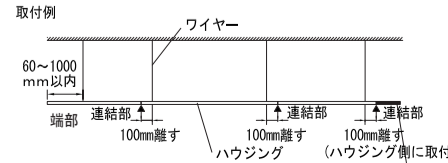
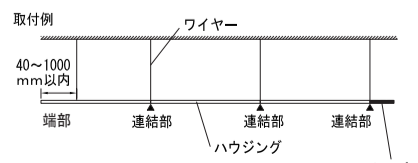
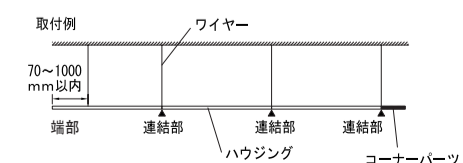
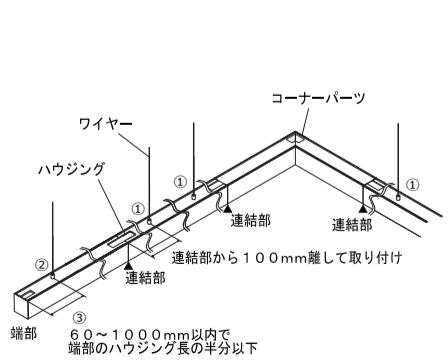
プロファイルシステムPFSにはコーナーパーツはありません。



ワイヤー-PFM-PWS2300使用時



ワイヤー-PFM-PWD2300使用時

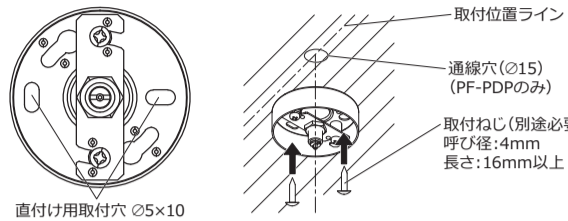


取付方法

1. 本体カップの取り付け

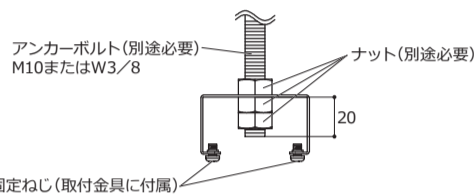
〈直付け取付の場合〉

- 取付前の確認
 - ・吊り下げるプロファイルシステム全体の質量に十分耐えるよう、取付面の強度を確認してください。
 - ・吊具の中心が一直線上になるように位置決めをおこなってください。
- 【PF-PDPのみ】通線穴をあける
 - ・通線穴(φ15mm)をあけてください。
- 本体カップの取り付け
 - ・本体カップをねじ(別途必要)で直付け用取付穴を使用し確実に固定してください。
 - 注意] 本体カップの中心は取付位置ライン(PF-PDPIは通線穴)にあわせてください。



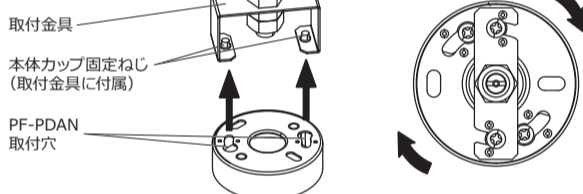
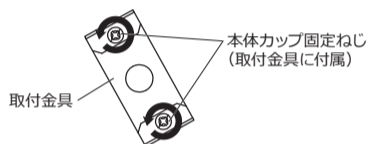
〈アンカーボルト取付の場合〉

- 取付前の確認
 - ・吊り下げるプロファイルシステム全体の質量に十分耐えるよう、取付面の強度を確認してください。
 - ・取付条件にしたいアンカーボルト(M10またはW3/8)を施工してください。
- 取付金具PF-PDAN(別売)の取り付け
 - ・下図のように取付金具を六角ナット3個(別途必要)で確実に取り付けてください。

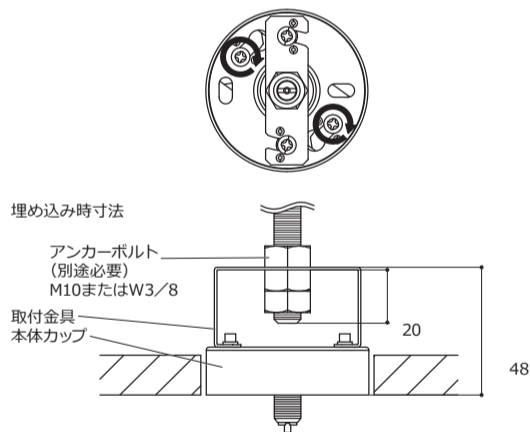


3. 本体カップの取り付け

- 取付金具に装着されているねじを緩めてください。
- 本体カップのPF-PDAN取付穴を取付金具の本体カップ固定ねじに差し込み、右に回転させてください。



③ 本体カップ固定ねじ(2本)を確実に締め込み、固定してください。

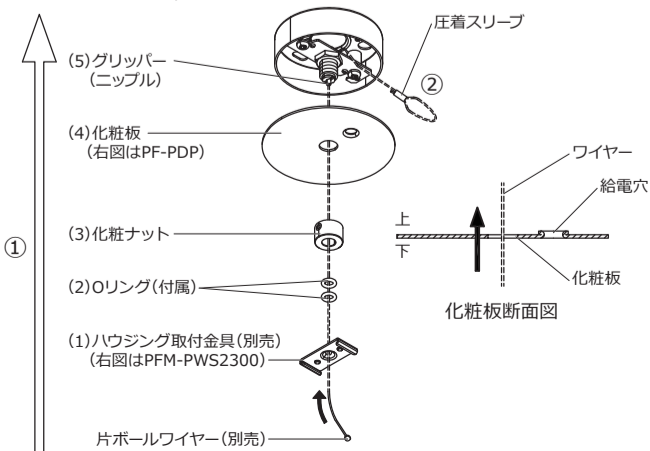


2. ワイヤーの取り付け

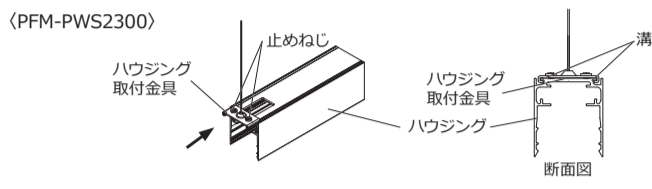
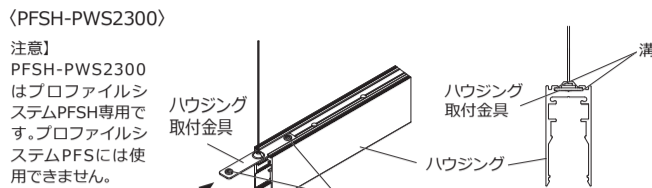
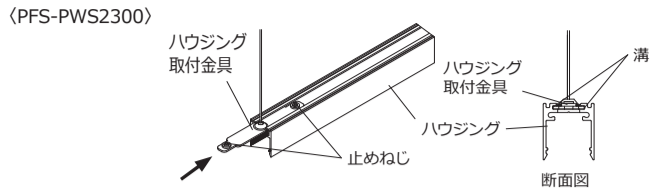
〈PFS-PWS2300、PFSH-PWS2300、PFM-PWS2300使用時〉

- 下記の順序に従って片ボールワイヤーに部品を通してください。
- 注意] 順序や向きを間違えると正しい取り付けが出来ません。

- 片ボールワイヤー挿入順序
- ハウジング取付金具
 - 【PF-PDP目つ接続コード使用時のみ】 Oリング
Oリング小:接続コードHKL片切り用
Oリング大:接続コードHKHL片切り用
 - 化粧ナット(開口径の小さい側を下向きに取り付けてください。)
 - 化粧板(PF-PDPは給電穴がフラットな面(表面)を下向きに取り付けてください。)
 - グリッパー(ニップル)
- ワイヤー端部を本体カップから引き出し、末端をループさせ圧着スリーブ(ワイヤーに付属)で確実にかしめてください。
 - 注意] ワイヤーは必要な長さに切断可能です。切断はワイヤー長の調節代を加味し、かしめる前に行ってください。

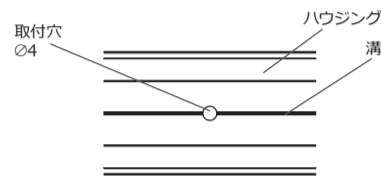


- ハウジングの溝にハウジング取付金具をスライドさせ、六角レンチ(付属)で止めねじを締めてください。



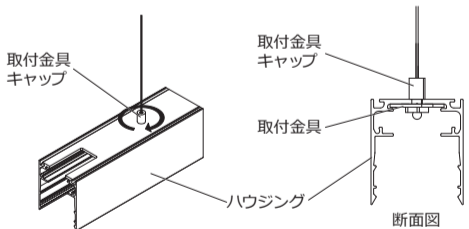
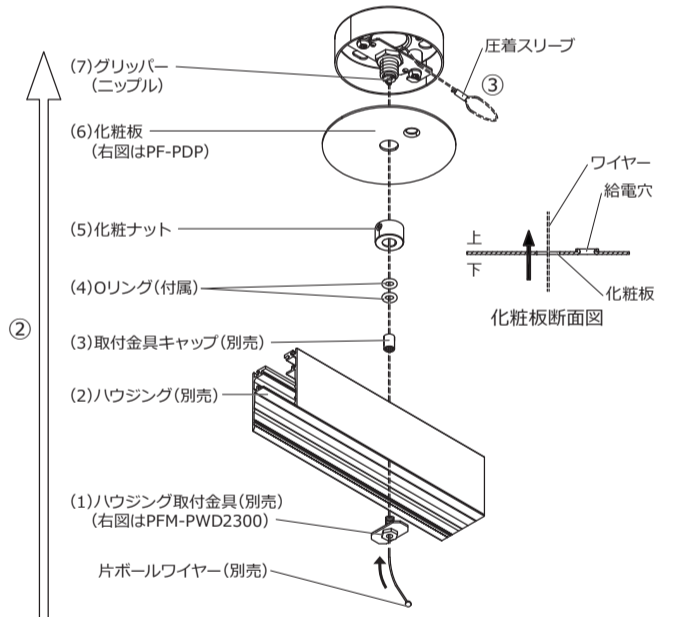
〈PFM-PWD2300使用時〉

- ハウジングにφ4の取付穴をあけてください



- 下記の順序にしたがって片ボールワイヤーに部品を通してください。
- 注意] 順序や向きを間違えると正しい取り付けが出来ません。

- 片ボールワイヤー挿入順序
- ハウジング取付金具
 - ハウジング
 - 取付金具キャップ(ワイヤーを通した後、ハウジング取付金具に確実に締め込んでください。)
 - 【PF-PDP目つ接続コード使用時のみ】 Oリング
Oリング小:接続コードHKL片切り用
Oリング大:接続コードHKHL片切り用
 - 化粧ナット(開口径の小さい側を下向きに取り付けてください。)
 - 化粧板(PF-PDP使用時は給電穴がフラットな面(表面)を下向きに取り付けてください。)
 - グリッパー(ニップル)
- ワイヤー端部を本体カップから引き出し、末端をループさせ圧着スリーブ(ワイヤーに付属)で確実にかしめてください。
 - 注意] ワイヤーは必要な長さに切断可能です。切断はワイヤー長の調節代を加味し、かしめる前に行ってください。

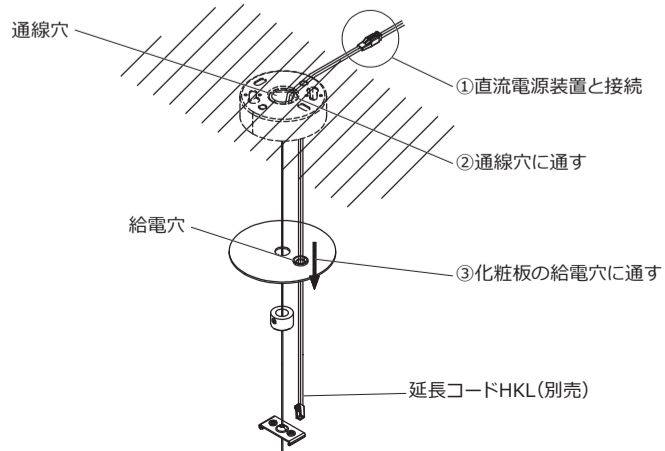


3. 【PF-PDPのみ】直流電源装置の接続

使用するLEDモジュール、直流電源装置の取扱説明書と併せてご覧ください。

〈延長コードHKL(FX50-LED用)使用時〉

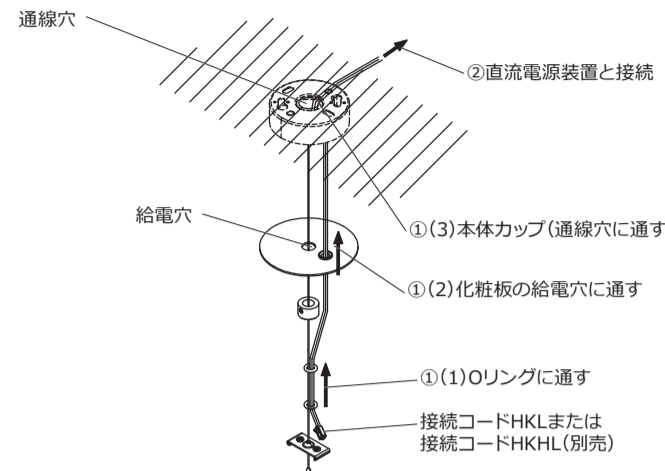
- 直流電源装置の出力側と延長コードHKLを接続してください。
- 延長コードHKLを通線穴に通してください。
- 延長コードHKLのコネクタを化粧板の給電穴に通してください。



〈接続コード使用時〉

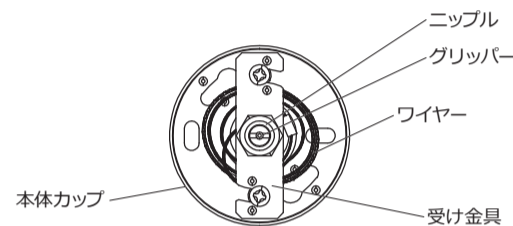
(HKL片切り:FX50-LED用、HKHL片切り:FXH-LED用)

- 下記の順序にしたがって接続コードの電線に部品を通してください。
 - (1) Oリング
 - (2) 化粧板の給電穴
 - (3) 本体カップ(通線穴)
- 直流電源装置の出力側と接続コードを接続してください。

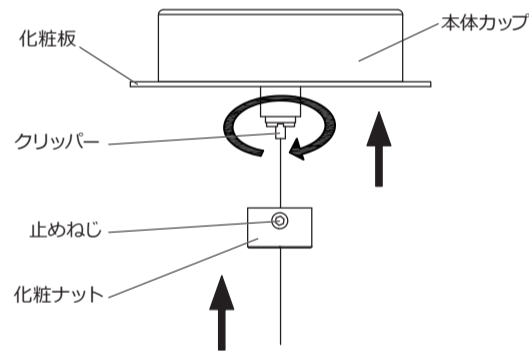


4. 化粧ナットの固定

- 余分なワイヤーは受け金具と本体カップの隙間に収納してください。



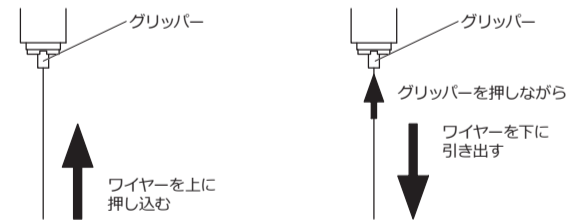
- 化粧板を本体カップに押しあてた状態で、化粧ナットを締め込み固定してください。
- 化粧ナットの止めネジを六角レンチ(付属)で確実に締めつけてください。



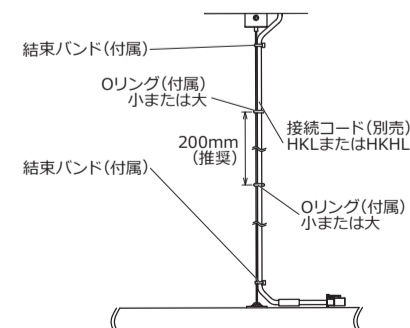
5. ハウジングの高さ調節

- ハウジングが水平になるように全てのワイヤーの長さを調節してください。
- 注意] 連結部分に強い負荷がかからないように高さ調節を行ってください。
- 注意] ワイヤーを調整する際は必ずハウジングを支えながら調節してください。

ハウジングの高さを上げる場合 ハウジングの高さを下げる場合



- 【接続コードのみ】 Oリングの位置を調節してください(推奨ピッチ200mm)。
- ワイヤーに電線をしっかり沿わせたい場合は上下を付属の結束バンドで束ねることをおすすめします。



6. 【PF-PDPのみ】LEDモジュールとの接続

- 延長コードまたは接続コードをLEDモジュールと接続してください。

プロファイルシステムの組み立てはプロファイルシステムPFSH、PFMの各取扱説明書をご覧ください。